



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 02274128 A

(43) Date of publication of application: 08 . 11 . 90

(51) Int. Cl.

H04B 1/38
H01M 2/10

(21) Application number: 01097727

(22) Date of filing: 17 . 04 . 89

(71) Applicant: FUJITSU LTD

(72) Inventor: MASUOKA SANEKIYO
TACHIBANA AKIYOSHI

(54) BATTERY CASE FOR ELECTRONIC INSTRUMENT

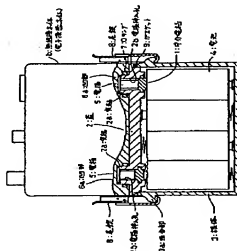
(57) Abstract:

PURPOSE: To improve the water-proof performance of a battery case when the case is separated from an electronic device main body by making an intermediate electrode connecting a battery contained in the battery case and an electrode of the electronic device main body of a pressing conductive rubber.

CONSTITUTION: An intermediate electrode 1 connecting a battery 4 contained in a battery case and an electrode of an electronic device main body 6 is made of a pressing conductive rubber. When the battery case is assembled to a radio equipment main body 6, the intermediate electrode 1 of the battery case is compressed by the electronic device main body such as an electrode 5 of a portable radio equipment main body 6, then the intermediate electrode 1 is energized and the power is supplied from the battery 4 to the radio equipment main body 6. When the battery case is separated from the radio equipment main body 6, since no pressing force is exerted to the intermediate electrode 1, the intermediate electrode 1 is insulated and acts like a packing sealing the inside and the outside of a

cover 2 of the battery case. Thus, water-proof performance is considerably improved.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio



③ 考案
(ア) (イ) (エ) (オ)

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-274128

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)11月8日

H 04 B 1/38
H 01 M 2/10

B 8020-5K
K 6340-5H
6340-5H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 電子機器の電池ケース

⑯ 特 願 平1-97727

⑰ 出 願 平1(1989)4月17日

⑱ 発 明 者 増 岡 實 静 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑲ 発 明 者 橋 章 良 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑳ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

㉑ 代 理 人 弁理士 井 桁 貞一

明 細 書

形成した構成とする。

1. 発明の名称

電子機器の電池ケース

(産業上の利用分野)

2. 特許請求の範囲

(1) 電子機器本体(6)に装着される電池ケースにおいて、

この発明は、電子機器の電池ケースに関し、特に携帯用の無線機の電池ケースに関するものである。

該電池ケースに収容された電池(4)と前記電子機器本体(6)の電極(5)とを仲介する仲介電極(

(従来の技術)

1)を加圧導電ゴムで形成したことを特徴とする電子機器の電池ケース。

第4図及び第5図は電子機器として携帯用無線機を使用した場合の従来の電池ケースを示すものである。この従来の電池ケースは、電池14を収納する箱体13と、該箱体13の一端面を蓋する蓋12とからなり、箱体13と蓋12との間にはガスケット19を挟んで密封するように構成されている。蓋12には反ばねで作った1対の仲介電極11が固定され、各仲介電極11は蓋12を貫通して蓋12の内側で電池14の電極に接触する一方、蓋12側に連結された無線機本体16の電極15に接触するように構成される。

3. 発明の詳細な説明

(概要)

電子機器特に、携帯用無線機の電池ケースに関し、

無線機本体16の電極15は無線機本体16の

電子機器本体と分離したときの電池ケースの防水性を高めることを目的とし、

電子機器本体に装着される電池ケースにおいて、該電池ケースに収納された電池と前記電子機器本体の電極とを仲介する仲介電極を加圧導電ゴムで

端面の上記伸介電極11に対応する位置に形成した凹部16aの中心部から突出させてあり、蓋12には、その凹部16aに内嵌されるとともに伸介電極11、無縁側電極15を囲繞する環状の突起12aが形成され、無縁側本体16と電池ケースとを組付けた時に、無縁側本体16の凹部16aの内周面に嵌合したリング17によって該凹部16aの内周面と蓋12の突起12aの外周面との間の隙間を密封するように構成される。

(発明が解決しようとする課題)

この従来の電池ケースでは、電子機器としての無縁側本体16と分離した時には、伸介電極11が外部に露出し、伸介電極11に水分が付着するとそれだけで電極11間が通電状態となり、付着した水分が該伸介電極11を伝って蓋12の内側に侵入した場合には更にリーク電流が大きくなる。

この発明は、上記の事情を鑑みてなされたものであり、その目的は、電子機器本体と分離したときの電池ケースの防水性を高めることにある。

無縁側本体6の電極5によって電池ケースの伸介電極1が圧迫され、伸介電極1が導電性を得て電池4から無縁側本体6に電力を供給することができ、また、無縁側本体6から電池ケースを分離した時には、伸介電極1に加圧力が作用しないので、伸介電極1は絶縁状態になるとともに、電池ケースの蓋2の内外を封止するパッキンとして作用する。

(実施例)

第1図及び第2図は電子機器が携帯用無縁側である場合の本願発明の一実施例を示すものである。

電池ケースは、電池4を収納する箱体3と、この一端面を蓋する蓋2と、ガasket9と、1対の伸介電極1・1とを備えている。ガasket9は箱体3と蓋2との間に挿入され、これらの隙間から電池ケース内に水分が侵入することを防止している。

この電池ケースを組付ける無縁側本体6の下面には、1対の凹部6a・6aが形成され、各凹部

(課題を解決するための手段)

この発明は、上記の目的を達成するために、電子機器本体6に設置される電池ケースにおいて、電池ケースに収納された電池4と前記電子機器本体6の電極とを伸介する伸介電極1を加圧導電ゴムで形成したものである。

(作用)

この発明において、加圧導電ゴムとは、シリコンゴム等の弾性体の内部にニッケル等の金属微粒子を1方向に並べ、その方向に圧力が作用した時に内部の金属微粒子同士が連結されて導電性を発揮し、その圧力を取り除くとゴムの弾性復元力により金属微粒子どうしが離隔されて絶縁状態になるものをいう。弾性体の素材は特に限定されるものではないが、耐電圧性及び耐腐蝕性に優れるとともに難燃性及び強靱性を備えるシリコンゴムを使用することが推奨される。

この発明においては、無縁側本体6に電池ケースを組付けた時には、電子機器本体例えは携帯用

6a・6aの中心部から下方に電極5・5が突出させてある。これに対応して、電池ケースの蓋2には凹部6a・6aに内嵌される突起2a・2aが形成され、これらの突起2a・2aの内部に無縁側本体6の電極5・5を受け入れる電極挿入孔2b・2bが形成される。これら電極挿入孔2b・2b内に上記伸介電極1が内嵌されている。

各伸介電極1は図上、上下方向に圧迫された時に導電性を示す加圧導電ゴムで形成され、その内端面に電池ケース内の電池4の端子が当接される。

なお、上記凹部6a・6aの内周面にはリング7・7が内嵌され、このリング7・7によってここに内嵌される電池ケースの突起2a・2aと凹部6a・6aとの隙間から電極5・5及び伸介電極1・1の接点部に水分が侵入することが防止される。また、上記無縁側本体6には組付けられた電池ケースを保持するための尾錠8・8が設けられ、箱体3にはこの尾錠8・8が嵌合される係合部3a・3aが形成される。

この電池ケースにおいては、これを無線機本体6に組付けた状態では無線機本体6の電極5・5によって伸介電極1・1が上下方向に圧迫されて導電状態となり、電池4から無線機本体6への電力の供給が可能になる一方、無線機本体6から分離した時には、伸介電極1・1に対する圧迫力が取り除かれ、伸介電極1・1が絶縁状態になるとともに、電極挿入孔2b・2bから電池ケース内の水分の浸入を防止する封止部材として作用する。したがって、無線機本体6から分離した時に電池ケース内に水分が浸入することはこの伸介電極1・1とガスケット9との封止作用によって完全に防止されるとともに、たとえ電池ケースが水没しても、両伸介電極1・1が絶縁状態になっているので、導電状態になるおそれなく、電池4の消耗を確実に防止できる。その結果、従来、無線機本体6から分離して携帯あるいは保管する時に必要とされていた防水容器や防水包装が不要となり、トータルコストを低減でき、また、保管スペースも小さくできる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例に係る電池ケースの縦断面図、第2図は無線機本体に組付けた該電池ケースの縦断面図、第3図はその伸介電極の要部形の縦断面図、第4図は従来の電池ケースの縦断面図、第5図は無線機本体に組付けた従来の電池ケースの縦断面図である。

- 1…伸介電極、
- 4…電池
- 5…電極
- 6…無線機本体（電子機器本体）

代理人 弁理士 井 術 貞

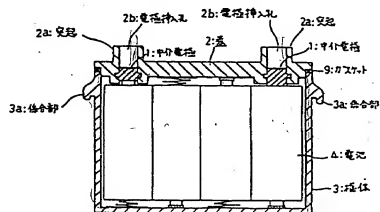


なお、上記の実施例において、例えば第3図に示すように、伸介電極1の片面あるいは両面に金属電極1aを接着、融着等によって付着させ、電極端面の耐摩耗性を高めることは妨げない。

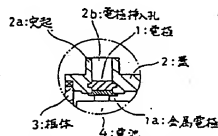
また、電子機器が携帯用無線機である場合についてのみ説明したが、他の電子機器に適用することは妨げない。

(発明の効果)

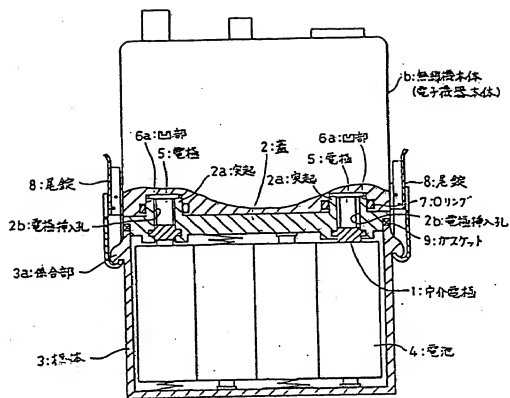
以上のように、この発明によれば、電池ケースの伸介電極を加圧導電ゴムで形成することにより、無線機等の電子機器本体から分離した時に、伸介電極で外部からの水分の浸入を防止できるとともに、外部への漏電を防止できるので、防水性を著しく高めることができる。また、電子機器本体から分離した時に外部への漏電を防止できることから、保管時の防水容器や防水包装が不要となり、トータルコストを低減できるとともに、保管スペースを小さくできる効果も得られる。



本発明明細断面図
第 1 図

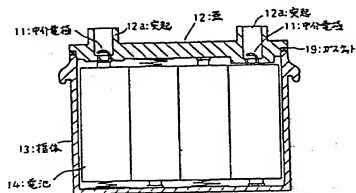


本発明の他の実施例部分断面図
第 3 図



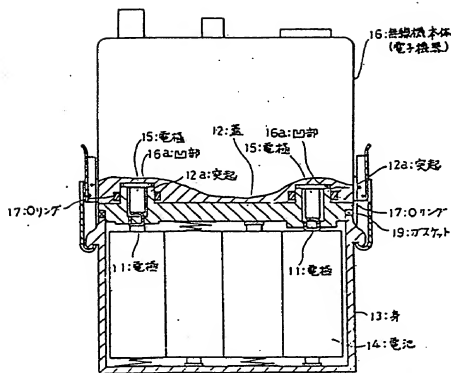
無線機本体に取付けた電池ケース縦断面図

第 2 図



従来電池ケース縦断面図

第 4 図



無線機本体に取付けた従来の
電池ケース横断面図

第 5 図